

令和2年度 第1回
島田市中小企業・小規模企業
振興推進会議

令和2年8月26日

議事要録

令和2年度 第1回島田市中小企業・小規模企業振興推進会議 議事要録

会議体の名称	令和2年度 第1回島田市中小企業・小規模企業振興推進会議	
事務局（担当課）	島田市産業観光部 商工課	
開催日時	令和2年8月26日（水） 13:30~15:00	
開催場所	島田市役所 3階 第2委員会室	
議題	<ul style="list-style-type: none"> ・「島田市中小企業・小規模企業実態調査」の論点整理 ・新型コロナウイルス感染症の影響及び支援策について ・令和2年度テーマの決定 	
出席者	委員	<ul style="list-style-type: none"> ・島田商工会議所 北川専務理事 ・島田市商工会 小野田事務局長 ・中小企業家同友会志太支部 戸塚条例推進会議 島田担当 ・有限会社落合製材所 落合代表取締役 ・新東海製紙株式会社島田工場 山河総務課長 ・島田掛川信用金庫 三浦理事 ・株式会社静岡銀行島田支店 伏見支店長 ・島田榛北地区労働者福祉協議会 鈴木会長 ・島田市校長会 園田初倉中学校長 ・島田市 谷河産業観光部長
	事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・中村商工課長 ・安達商工政策係長 ・宮脇産業支援センター係長 ・松浦主事

配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度 第1回島田市中小企業・小規模企業振興推進会議席次表 ・【資料1】「島田市中小企業・小規模企業実態調査」論点整理表 ・【資料2】新型コロナウイルス感染症の市内経済への影響 ・【資料3】新型コロナウイルス感染症に係る中小企業者向け緊急経済対策 ・【資料4】中小企業者が抱える課題の変化 ・【資料5】令和2年度 島田市中小企業・小規模企業振興推進会議スケジュール案 ・【参考資料1】島田市における中小企業支援施策 ・【参考資料2】「島田市中小企業・小規模企業実態調査」報告書
------	--

【議事録】

○事務局

定刻となりましたので、只今より令和2年度 第1回中小企業・小規模企業振興推進会議を開催いたします。第1回の会議ですので、会長が選出されるまでの間、事務局で進行を務めます。

会議に先立ちまして、委員の出席者数を報告します。定数11人のうち、本日は10人が出席し、過半数を超えておりますので、「会議規則」第3条第2項の規定により、会議は成立しています。

それでは、次第に従って進めていきます。

はじめに、牛尾副市長より一言ご挨拶申し上げます。牛尾副市長、よろしく申し上げます。

○牛尾副市長

皆さん、改めましてこんにちは。

このコロナ禍の状況の中、また連日暑い日が続く中、お集まりいただきありがとうございます。

今お集まりの皆さんは、関係団体を代表してこの場にお越しいただき、折しもコロナ禍の状況の中で、皆さん色々な対策を打っておいでの渦中かと存じます。

三密回避、ソーシャルディスタンスといった新しい生活様式を踏まえながら、一刻も早くこの状況を克服したいということで、臨時交付金を活用し、行政も懸命に取り組んでいるところでございます。

それをより早く、待っている皆さんのところへ届けように対応しているつもりではございますが、限られた資源の中で、どんな施策を打っていったら一番喜んでもらえるかということについて、皆さんが持っている現場の意見をよくよく聞かせていただければと思っております。皆さん、どうぞよろしく願いいたします。

○事務局

ありがとうございました。

それでは、牛尾副市長より委嘱状の交付をお願いいたします。

～牛尾副市長より委員へ委嘱状を交付～

○事務局

ありがとうございました。

牛尾副市長は公務の都合により、ここで退席とさせていただきます。続きまして、委員の皆様及び事務局の紹介をさせていただきます。

～自己紹介～

- 事務局 島田の産業構造については、他の市と似通っている部分はあるか
と思います。やはり製造業が地域の産業の一番の支えになっている
ことが見て取れますし、その中で食品関係の企業が多いのは、大井
川の伏流水の恵みによるものです。あとは交通の便が良いというお
声もいただいています。一方で、高齢化の進行という他市と同様の
課題も浮き彫りになったかと感じています。
- A 委員 「島田市で事業を行う際のデメリット」の回答で最も多い「小売店
やサービス店の減少」については、どう捉えていますか。
- 事務局 アンケートでは具体的な部分まで踏み込んでいませんので、これは
仮説ですけれども、事業者の取引が近いところ、市内を中心に行わ
れているという結果が出ておりますので、市内の小売店舗の減少に
より取引相手も少なくなっているということではないかと。また、
商業店舗が減ってくると、「賑わい・街の元気さ」が弱っているよう
に見えるという部分もありますので、そういう回答にも繋がっ
ているのではないかと分析しています。
- H 委員 店舗や設備面での課題では、「設備投資の充実」の割合が高いのです
が、一方で設備投資の補助金の利用割合は少ない印象を受けます。
何か理由があるのでしょうか。
- 事務局 補助金の内容にも理由はあるのですが、まずはこの補助金の情
報がどれだけ事業者が届いているのかという課題が前提にあるの
ではないかと。中小企業庁が全国的な調査を行った際にも、「行政の施
策を知っているか」という問いに対するYESの回答率が低かった
と記憶しています。
島田市産業支援センターでも定期的に説明会を開催しております
が、まだ情報伝達の部分が充分でないのかなと感じます。だからこ
そ、帝国データバンクさんの「施策のPR」という提案に結び付いた
のではないかと考えています。
- F 委員 雇用についての「働き方改革を意識するも、体制整備には遅れも」
という課題ですが、遅れの理由についてはどう捉えていますか。

- 事務局 訪問ヒアリングの中で、いくつかお声をいただいたのが、「働き方改革に取り組みたいという思いはあるが、通常業務に追われてしまいそれに割く時間がない」というご意見でした。
- 北川会長 皆さん、ありがとうございました。
当初は、この実態調査の結果を元に、市内中小企業者の声を反映させた支援施策を検討するというのが、本来の目的でございました。
しかしながら、新型コロナウイルス感染症の流行により、社会の構造が大きく変化、国内の経済状況も一変し、我々は非常に厳しい状況に直面しております。ですから、通常の施策とコロナ対策とを、分けて整理する必要があるのかなと。
そこで、コロナに係る現在の状況と支援について、一度共有させていただければと思います。事務局へ説明を求めます。
- 事務局 資料2～4を元に、コロナの市内経済への影響及び市の支援策について説明を行った。
- 北川会長 ありがとうございました。
みなさんの所属される各団体におかれましても、コロナによって様々な影響を受けていたり、対策を講じておられることと思います。
ここで、みなさんが各々把握されている情報について、この場でご紹介いただければと考えております。
みなさん、ご発言をお願いいたします。
- OG 委員 うちは取引先商店の商品を社員が閲覧できるSNS上に掲載し、社員が購入することで地元を応援するという取り組みを実施しています。
- OI 委員 当団体が7月31日付で行った景気動向調査では、製造業・小売業・サービス業は対前年比では厳しい数字ですが、対前月で見ると6月からは若干上向いています。建設業は、当初は資材が入らないという問題からはじまり、現在も受注案件の見合わせ、先送りと厳しい状況下にあります。
どの業種にも言えることは、コロナ終息の目途が見えない不安感があり、積極的に動くことができないということ。
資金繰りについては、4～5月は殺到しましたが、市内金融機関の

ご協力があり、現在は少し落ち着いている印象です。これについては、国の持続化給付金や市の給付金といった施策の効果もあり、なんとか保っているのではないかと推測しています。

飲食業については、休業要請後に事業者がテイクアウトに力を入れ始めたこともあり、明るさも見えてきたところでしたが、また7月以降の感染拡大の影響で、団体客のキャンセルが相次いでいると聞いております。

一方で、新しいビジネスモデル、ITの活用やネット販売、ライブ配信等を活用している若手の事業者も出てきています。

○C委員

ただいま金融支援のお話がありましたが、3月から7月の間だけで、市内の保証付き融資が95億の増加です。既に市内だけで約100億円の資金調達をさせていただいています。次は秋口からの再流行に向け、どう対応していくかだと感じています。

○A委員

他市が鉄道会社と移住支援に関する協定を結んだというニュースを目にしましたが、このようにコロナ終息後に首都圏から人が流入してくることを見越し、今のうちに手を打っておくのもひとつかなと感じていますが、島田市ではどうでしょうか。

○事務局

本市としても、移住支援は大きなポイントの一つとして捉えており、国から2兆円の臨時交付金の事業の一つとして、こちらに住もうと考えている方への支援を行っております。

あとは、昨今話題になっているワーケーションを実際に島田市でやる場合の調査事業についても、今年度の後半に始めていきます。

普段から、移住・定住については担当課が動いており、今後は更に上乗せしてやっていくと。報道された自治体だけでなく、今は多くの自治体で移住施策について動きは始めているのが実際のところです。

○北川会長

ありがとうございました。

ここまでの、昨年の実態調査からわかる中小企業者の皆様の抱える課題、その一方で、新型コロナウイルス感染症によって一変した状況についての情報共有を終えました。

ここから、それを踏まえた上で、本年度この会議で何を論じるべきか、テーマ決めを行いたいと思います。

みなさん、いかがお考えでしょうか。

- OB 委員 やはり、条例の基本理念に則り、より多くの事業者の意見が吸い上げられた施策を打ち出すのが良いと思います。
- 北川会長 市としても、財源が潤沢にある訳ではありません。今、中小企業者に本当に喜んでもらえる施策は何かを皆さんで議論し、できれば来年度施策に反映させるところまでたどり着きたいと考えております。広いテーマにすると施策が絞りづらいですし、「人材確保」については、求人や雇用の状況が大分変わってきています。生活様式、ビジネススタイルも様変わりしていますので、「働き方改革」をテーマにするのも一つの案かとは思いますが。
- A 委員 確かに、コロナ終息後は生活スタイルもがらりと変わると思います。他市では、市内至る所に Wi-Fi が繋がり、例えば公園内で PC を使用しながら仕事ができるという先進的な取り組みを行っているところもあると聞きました。
- OH 委員 先程の事務局の説明を聞くに、市のコロナ施策は充実しているように思います。今は、勢いよく生産性を上げるというより、事業者にとって我慢の時期です。事業者側も「売上が上がらないならコストを下げる」といった工夫をすることが大切だと思います。
- OD 委員 外出自粛が続いたことで、インターネット購買が増えています。そのネット消費者をいかにして市内事業者が取り込むか、集客だけではない販売戦略を練っていかなくてはなりません。
- OB 委員 島田のファン、島田を応援したいと思う子ども達が増えるよう、教育していくことも大切ではないでしょうか。
子どもが他地域に出て行ったときに、「島田はこういう街だよ」といえるような誇れる故郷があることを教える、それが結果的に市内で働くということにも繋がるのでは。
- OD 委員 島田の教育方針である「夢育・地育」は、地域に根付いた子を育てることを目指しています。しかしながら、地域産業の活性化に関わるというところまでは追いついていないのが現状です。地域の企業

で職場体験をするという取り組みは行っていますが。

- H 委員 当社には年間 1,000 人の学生が工場見学に来ますが、今後は更に活発に取り組んでいきたいと考えています。
- 北川会長 確かに、今の話は広い意味での「雇用」に繋がりますね。
先程、コロナ終息後を見据えた施策という意見がでましたが、これについてはいかがでしょうか。
- A 委員 コロナ関連の支援施策は出尽くしている感があり、市の財政にも限界があります。あとは、事業者自身がどこまで対応できるかにかかっているのではないのでしょうか。その事業者の努力を、市がフォローできるような施策を考えてみては。
- 北川会長 新しい生活様式に適用した、新しいビジネススタイルを支援するというのでしょうか。
では、それぞれの団体で「こういったものがあれば」という施策案を検討していただき、次回の会議でご提言をお願いします。
最後に、ご発言のある方はいらっしゃいますか。
- A 委員 ひとつ、この会議の在り方について提案があるのですがよろしいでしょうか。
昨年会議にオブザーバーとして参加いただいた富士宮市中小企業振興懇話会の座長のお話では、富士宮市には地元の若手経営者と市の若手職員が集まり、市の施策について議論する場があるとのことでした。
島田市にも同様の仕組みがあれば、より活発な議論が行えるのではないかと思います。いかがでしょうか。
- 事務局 まず、当市のこの会議においても、纏まった意見を持った団体がオブザーバーとして出席し、発言することは可能です。
富士宮市には企画部門が事務局を担う「未来創造塾」があり、若手の経営者と市の職員が意見交換を行っていると同っています。
当市の会議は、会議の規模が大きくなると機動力が落ちる等との考えが立ち上げの段階であり、委員 11 名という規模に決定しましたので、この会議の下部に青年部会のような組織を設けるという考えは

現時点ではありません。

○B 委員 コロナ禍の状況において、スピーディーに対応していかななくてはならないという危機感をもった時に、行政と民間がフランクに話し合える場があれば良いとも思うのですが。

○北川会長 青年部会を設けるというよりは、各委員が熱意を持った若者を何人かピックアップして、彼らの意見を委員が吸い上げ、今より密度の濃い会議をつくりあげる方が現実的でしょうか。現時点で、行政主導の下部組織をつくるというのは難しいかもしれませんね。

○A 委員 青年部会のようなものがつくれないか、方法論でも論じていくべきではないでしょうか。

○北川会長 では、本来のテーマとは別に、この問題についても議論する場を調整していきたいと思います。

皆さん、本日はありがとうございました。以上で意見交換を終了します。これより先は、事務局に進行をお戻しします。

○事務局 皆さま、ありがとうございました。

最後になりますが、次回の推進会議のご案内をいたします。次回は、9月下旬の開催を予定しております。今回決定したテーマについて、どのように具体的な支援施策へ繋げていくかを主な内容として考えておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、以上をもちまして、第1回島田市中小企業・小規模企業振興推進会議を閉会させていただきます。本日はありがとうございました。